

里山みらい報

〈第2号〉

この森を育み、この森と生きる。
角間里山みらい
特定非営利活動法人
〒920-1301 金沢市永安町77 電話・FAX076-256-5338
E-mail:npo@satoyamamirai.jp http://satoyamamirai.jp/

角間里山みらい 検索

金沢トレイル連携協が発足

里山の自然と文化を身近に

角間里山みらいは、県ウオーキング協会などと手を携え、金沢トレイル連携協議会を発足させました。2月に金沢市で開いた設立総会には、自治体や山岳愛好



設立総会であいさつする佐川会長

知ってもらうために、これまでのコースにくわえ、湯涌温泉・高尾山・倉ヶ岳から大額までの36キロをつなげるようになりました。

四季の体験会も

設立総会で、会長に選ばれた金大地域創造学類の佐川哲也教授は「石川の中心となるコースをつくり、トレイル文化を県内、全国に広めていきたい」とあいさつしました。

新幹線開業の来年3月末までに、コースマップやホームページを作成。また、2014年度は、年4回の「四季の金沢トレイル体験会」や「金沢トレイルレンジャー養成講座」などを開きます。



昨年9月の「金沢トレイル」

これらの活動をおし

て、里山の保全と中山間地の活性化をすすめることも、「歩く観光」として、金沢の自然と歴史にしたい。新しい文化の発信に取り組みむことにしています。

役員は次のみなさん。

■顧問・馳浩(衆議院議員)・岡田直樹(参議院議員)・山田修路(同)・山野之義(金沢市長) ■相談役・粗野義昭(県議会議長)・高瀬裕章(県農林事務所所長)・門村和永(金沢森林組合組合長) ■会長・佐川哲也(金沢大学教授) ■副会長・嵯峨元(北國新聞社取締役事業本部長)・三橋俊一(金沢林業大学校校長)・北賀県ウオーキング協会会長 ■理事長・河崎仁志(NPO法人角間里山みらい専務理事) ■理事・安藤精孝(湯涌温泉観光協会会長)・井上明浩(金沢星稜大学人間科学部准教授)・植茶泰男(県ウオーキング協会企画広報委員長)・尾崎敬志(金沢市市民スポーツ課担当部長)・金丸和弘(県ノルディック・ウォーク協会理事長)・熊澤栄二(石川工業高等専門学校准教授)・砂山亜紀子(もりらパーリ業女子会@石川代表)・関戸正彦(金沢市山岳連盟会長)・寺田進(㈱アドセンタ1相談役)・寺西智美(金沢トレイルレンジャー代表)・梅典雅(金沢大学ワンダーフォーゲル部OB)・西田弘道(い

角間の里山整備

すつきり遊歩道と竹林間伐

放っておけば荒れ放題となる里山林の保全管理のため、NPO法人角間里山みらいは、この冬、金沢大学の里山ゾーンで遊歩道などの整備をおこないました。およそ74ヘクタールの里山ゾーンをめぐる遊歩道

42キロの草刈りとともに、倒れて道をふさいでいるものなど、170本の枯損木を切り、後始末をしました。里山は、それぞれの植生にあつた整備をほどこすことで、豊かな森になります。市民に身近なそうした里山



角間の里山ゾーンで竹林を整備する

ご縁と地域連携を軸に

NPO法人角間里山みらい
代表理事 三橋 俊一

日頃より、当法人の事業活動、運営にご理解、ご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

私どもは、大学をはじめとする教育機関、企業、市民、サポート団体等、地域の方々と手を結び、里山を健全な姿で保全することを目的に、平成24年3月28日付で設立認証を受けました。一口で言えば、地域連携による里山保全・利用活動を目指しています。

さらに、金沢大学角間キャンパスの里山保全について、平成25年7月に同大角間里山本部と覚書を結び、里山の整備や人材育成に取り組むはじめています。

今年度は、国や石川県、金沢市、日本財団のご支援を受けて、角間地区の遊歩道の草刈り、倒木や枯れた木の伐採、竹林の整備、さらに金沢市内の森林での不法投棄防止活動、環境保全の人材育成などを推進しました。同時に学生や市民、子どもらの参加する角間里山まつりやトレイルの開催などを通して、里山の理解を深める活動も展開しました。

平成26年度は、これまでの事業の継続に加え、より、活動のすそ野を広げられるよう会員拡大や企業のCSR活動への参加を要請していきたいと思ひます。また、学生を核に広く里山の保全、体験学習への参加を呼びかけるとともに、里山を活用した環境、幼児教育としての森の学校などを開催する予定です。

多くの方々のご縁を得ながら、里山の活性化と再生を進めてまいりますので、より一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

(みつはし・しゅんいち=金沢林業大学校長)

の状況をつかむためにも遊歩道の整備はかせません。

これとともに、金大角間里山本部など共同で、約2.5ヘクタールの竹林整備もおこないました。地域交流に生かす一角と同等の竹間伐調査研究箇所、間伐などをしたものです。

切った竹が早く土にかえるよう、1本ごとに幹と枝をわけるなど、丁寧に作業をしていました。(今回の整備は林野庁の「森林・山村多面的機能発揮対策事業」として実施しました)

角間里山みらいの活動が「いしかわ事業者版環境ISO」に認証され、1月30日県庁で三橋代表理事が谷本知事から認定書と写真を受け取りました。

当NPOの里山づくりに役立つ活動や集落コミュニティ支援活動などの取り組み方針が、国際的な環境規格



格(ISO)の考え方に適合していることと認証されたものです。今回は里山保全では、11団体が認証をうけました。

「里山みらい」の活動

しかわ里山保全活動リーダー(会長)・西本東介(北國新聞事業部長)・不破哲(金沢市森林再生課担当部長) ■監事・太田圭亮(県立中央病院救急・総

「達人から学ぶ」実践編 ナメコ栽培と竹細工を体験

シリーズ「達人から学ぶ」実践編として、角間里山みらいは2、3月にフィールド体験実習講座を開き、キ



ナメコ栽培のほた木を運ぶ

「達人から学ぶ」実践編として、角間里山みらいは2、3月にフィールド体験実習講座を開き、キノコ講座は金沢市林業振興協議会の浦上作二さんの指導で、ナメコの原木栽培に取り組みました。木の種類とキノコの関係の説明を受け、木片に菌を繁殖させたナメコの種駒を、エノキのほた木に打ち込み、日陰で雨が当たる場所を選んで仮伏せの作業をしました。

このあと「角間の館」で、菌床栽培と原木栽培のナメコ汁を食べ比べました。



竹細工のパック

「ドイツで一番幸せな村の村長講演会」が全国6カ所であり、1月には岐阜県郡上市明宝で開かれました。里山の集落の活性化策をさぐるために、角間里山みらいから河崎専務理事ら2人が参加しました。

この村は南ドイツ・バイエルン州のレッテンバッハ村。70年代から人口流出がすすみ、780人の住民が一時580人まで減少。これに危機感をもったのが現村長のフィッシャーさんと仲間たち。

ドイツの村長講演会を聞く

「若者が住みやすく、環境にやさしい村づくり」を掲げ、自然エネルギー、地域通貨、製造業の起業支援、交流拠点、子育てなどに自分たちで取り組みました。これが功を奏し、村に若者が戻るなど、830人に人口がふえたということでした。

一方、郡上市明宝も、地域名を冠したハムやケチャップ製造をはじめ、「木の駅プロジェクト」(4面に関連記事)の木材を、町内の温泉施設の燃料に利用するなど、こまめに地域の魅力づくりにみがきをかけています。

環境教育と仕事の関係

個人起業のあり方を学ぶ

「達人から学ぶ」シリーズの今年度最終回のテーマは「環境教育で起業する」。講師の西村仁志さんは広島修道大学の准教授とともに、環境教育事務所を主宰しています。



講師から「起業」のアイデアを学ぶ

「達人から学ぶ」シリーズの今年度最終回のテーマは「環境教育で起業する」。講師の西村仁志さんは広島修道大学の准教授とともに、環境教育事務所を主宰しています。



講師から「起業」のアイデアを学ぶ

講座参加者にアンケート

シリーズ「達人から学ぶ」に関連し、NPO法人角間里山みらいは1月12日、「里山ビジネス」2日目の参加者37人(20代~70代)を対象に、講座終了後にアンケート調査をしました。(3面に関連記事)

〈講座を何で知ったか〉	〈満足度指数〉
●知人の紹介 15人	●100 9人
●インターネット 12人	●90~ 11人
●チラシ 7人	●80~ 8人
●その他 3人	●70~ 6人
	●60~ 1人
	●50~ 1人
	●不明 1人

〈参加者の声〉
「いろいろな引き出しを持っている人と知り合えた」「自分の覚悟、やるべきことが明確になった」「生きる力をいただいた」「自然を通して、たくさんのが学べる」「講師のお話、ワークショップ、ともにとても刺激的だった」「町おこしのヒントになった」「実現へのハードルの高さを改めて認識した」「もう少し時間を長く取ってほしいかった」

シリーズ「達人から学ぶ」 4つのテーマで開講

角間里山みらいは1月以降、「達人から学ぶ」シリーズを4回ひらき、いずれも参加者から好評を得ました。金沢市と日本財団などの助成を受け、各地で先駆的な取り組みをしているリーダーを講師に招いたものです。

山里の村に若い息吹

里山ビジネス、成功の秘けつ

「里山ビジネス」の講師は、牧大介さん。岡山県西粟倉村を舞台にした、自立した村づくりの取り組みを紹介しながら「チャレンジする人の気持ちの持ちよう」がカギとなる「別項参照」と話しました。(株)トビムシ取締役でもある牧さんは、全国各地で、森林資源をいかすローカルベンチャーの育成を手がけています。全国平均の2倍をこす高齢



市学生のまち市民交流館での講座

仲間づくりの模擬体験も
2日間にわたる講座には、県内各地に加え、富山や東京からの参加者もいました。このうち「里山ビジネス」に取り組みしたいと、すでに手をあげた会場の6人を囲み、50人が班別にワー

を持ち、また共鳴する若い人たち、2日間で延べ60人が参加しました。

20年におよぶ西村さんの体験をもとに、ソーシャル・ビジネス(社会的企業)への接近や、なめらかな人づきあいについての理解を深めました。

参加者は、身のまわりにある「社会問題を、どう」仕事にするかの方法論をきいたあと、「もし、自分が個人事務所を開設したとすると」の想定で、それぞれが「業務案内」づくりの体験もしました。

高い木質燃料への関心 「ファイヤーフェス」開く

木質燃料の利用促進をはかるため「ファイヤーフェス」金沢2013「薪vsペレット」を昨年12月8日、金沢森林組合緑化センターで開催しました。金沢市主催の事業で、約7百人の来場者でにぎわいました。



山野金沢市長(左)も来場

展示コーナーでは、問い合わせの人たちがひっきりなしに訪れ、関心の高さがうかがわれました。会場ではチェンソーによる丸太の切り出し、ドングリトトロの工作、ナメコ汁ふるまいなどもありました。

金沢で初の「こころみ」 「木の駅プロジェクト」

金沢ではじめての「金沢・木の駅プロジェクト」が昨年12月におこなわれ、当NPO法人が運営にあたりました。

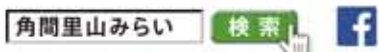
集材場所の金沢森林組合緑化センター(同市末町)には、軽トラック18台分、10・2立方メートルのナラ材、スギ材が集まりました。山の木を切り、集め、運び、荷おろし。地元の間との作業に、集材所では笑顔もみえました。

自分のもち山がすこし整理され、ささやかながら「小遣い」になったからでしょうか。その「小遣い」は、地域通貨(森券)として発行、地域の朝市やJAほかから村で使える仕組みです。今回は試験的にこころみましたが、採算性や地域通貨をふくむプロジェクト対象範囲などの課題もあきらかにありました。(同プロジェクトは「金沢市つたえ・つなげる里山活用推進事業」で実施)

ホームページ開設!

角間里山みらいでは、ホームページをこのほど開設いたしました。当法人の開催するイベントやセミナーなどを随時発信してまいります。また、さらに多くの方に情報提供できる手段としてフェイスブックページも開設しております。フェイスブックでは、イベントやセミナーの案内や活動の様子を発信してまいります。ぜひ、ご覧ください。

ホームページアドレス <http://satoyamamirai.jp/>



野生鳥獣は里山の資源 捕獲と常食化への取り組み

京都府美山町で、レストランと自然体験の「田舎舎」を経営する藤原さんをお招いた「達人から学ぶ」は、ジビエ(野生鳥獣)がテーマ。白山麓などから約40人が参加しました。

藤原夫妻はスタッフ6人と「小規模だけど第六次産業(農業プラス食品加工・流通販売の経営形態)」に取り組んでいます。この日は

鹿やイノシシなどを、害獣とみるのではなく、森がはぐくむ資源という観点で話をすすめました。藤原さんからは捕獲に加え自前の解体場もつくっています。

参加者の質問に「丁寧な処理と解体で肉はくさくならない」などと語りました。

夜は藤原さん持参の鹿のジビエ、レバーなどを試食しながら交流会「田舎舎」での鹿解体のツアーは、若い女性が多く、年々関心が高まっています。肌で感じる」という話も。



イノシシ肉のソーセージづくり

震災と民間支援の役割 防災はふだんの備えから

「自然災害ボランティア」の講師は、岐阜市の北川健司さん。NPO法人広域防災水難救助支援機構理事長のかたわら、(株)アウトドアサポートシステムを経営。

野外活動にともなう能力やリスクマネジメントは、災害時の初期対応にもいかされるのではないかと考えて、講師にお招きしました。

北川さんは、東日本大震災でのボランティア活動の軸に、緊急支援から復興



学生の東北ボランティア報告も

支援への取り組みを、民間の視点でおこなったことを紹介。「ふだんから防災を考え

て、備えをしている人は、生き残る確率がたかい。生き残らなければ人も助けられないでしょう」と呼びかけました。

北陸学院大生の 東北支援報告も

引き続き約30人の参加者は、▽災害時への備え▽自分は何ができるか▽これからの東北支援について話し合いました。岩手県などで災害ボランティアに取り組みんでいる北陸学院大学「よりそいの花プロジェクト」の学生や先生に、金大生らも交え、意見を

入会のご案内

里山の豊かなのちをはぐくんで未来へつなぐために、一緒に汗を流しませんか。自然を愛する人たちの出会いや、新しい発見、感動を分かち合しましょう。角間里山みらいは、皆さまのご入会、サポートをお待ちしております。

〈年会費〉(毎年4月1日~翌年3月31日)

- 正会員(議決権あり) 個人会員/1口 5,000円
- 賛助会員(議決権なし) 個人会員/1口 3,000円 団体会員/1口 10,000円

※当法人が開催するセミナー、イベントなどのお知らせをお送りします。※当法人発行の会報(年2回刊)をお送りします。